

## 平成21年3月期第3四半期決算説明会Q&A

### 【主に計測器事業について】

**Q1: 連結ベースで第3四半期の受注を前年同期比と比較すると、約34%落ち込んでいる。第4四半期以降の見通しを教えてください。**

**A:** 昨年12月に販売を開始したLTEシグナリングテストの引合、受注が順調である。来年度分の売上を含めて考えると、第4四半期としてはほぼ前年同期並みの受注を獲得できると見込んでいる。2009年度は、昨年よりも若干低い受注残でスタートできるのではないかと予想している。

**Q2: 生産状況について、現在の稼働率と第4四半期の見通しについて知りたい。**

**A:** 計画値の65%~70%で推移しており、稼働率を上げるためにも、東北アンリツ（製造子会社）では、昨年12月からワークシェアを実施している。第4四半期については、日本市場の季節要因やLTEシグナリングテストの需要でまとまった生産を計画しており、稼働率の改善を見込んでいる。

**Q3: サービスアシュアランス事業の現状と、黒字化の見通しについて知りたい。**

**A:** この事業はEMEA（Europe, Middle East, Africa）が中心である。経済危機の影響からオペレータの投資が抑制されており、ロシアで進捗していた案件も凍結されている。EMEA以外では、メキシコで投資案件があり受注活動を展開している。このような事業環境の変化に見合う事業体制の見直しを計画しており、2009年度にはのれん代を除いて、営業黒字を達成したい。

**Q4: 為替レートと1円変動したときの収益への影響を知りたい。**

**A:** 1ドル=90円、1ユーロ=125円を前提としている。ドル、ユーロ併せて、第4四半期の受注・売上ベースで換算すると1円変動で5000万円程度のインパクトであろう。2009年度通期としては、1円の変動でドルは7000万円、ユーロは3000万円ほどのインパクトがあると見ている。

**Q5: オバマ政権で、通信のブロードバンド化のために約60億ドルを投資することが発表されたが、どのように認識しているか。**

**A:** アメリカの通信網強化には期待しているが、現段階で計測ビジネスへの波及効果は具体的には見えていない。

### 【その他の事業】

**Q6: 光デバイスが好調だが、どの分野で活発なのを知りたい。**

**A:** 動画配信分野の励起光源としてのニーズである。光デバイスは当社のビジネス全体の数%であり、業績への影響は小さい。

### 【経営施策について】

**Q7: 緊急経営施策によるコスト削減効果について知りたい。**

**A:** 今回実施する施策は、まずは2008年12月24日に発表した今期の損益水準を断固として確保するためである。また、一過性のものではなく2009年度以降も視野に入れた施策である。2009年度の売上高についてはLTEや中国の3Gビジネス等の新規案件による純増がある一方、既存のビジネスの下方トレンドは続くと予想している。売上高が2008年度の期初計画だった1000億円の2割減となったとしても利益を確保できることを狙っている。

### 【その他】

**Q8: 2008年3月期で繰延税金資産が70億円以上あるが、会計監査が厳しくなっている。リスク要因となるか。**

**A:** 繰延税金資産の回収可能性について監査が厳しくなっているのは承知している。アンリツ本体の繰延税金資産は純額で74億円あるが、当3月期での取崩しリスクはないと見ている。